



夢・いっぱい

第4号

令和4年6月24日

2022年度の経営方針
今日の学び合いを楽しみ、明日が待ち遠しい学校づくり
～ 開かれた学校において、「愛宕の子」として地域と共に育てる ～

校長 栗林 孝幸

5月28日の運動会には多くのご参観ありがとうございました。子どもたちは、いつも以上に張り切っていたように思います。一方で、参加したくても参加できなかった子どもたちがいたことも心にとめておかななくてはなりません。当たり前であると思ってきた日常が当たり前ではないことに改めて気づかされるとともに感謝の気持ちでいっぱいです。また、準備や片付けでは多くの方に協力いただき短時間で終わることができました。ありがとうございます。



6年生のおかげできれいなプーで泳げます。

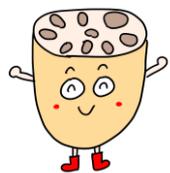
第1回学校運営協議会

令和4年度の第1回学校運営協議会が6月16日に行われました。自己紹介に続いて、会長のあいさつ、今年度の学校運営方針の説明、承認が行われました。また、地域と連携した活動についても話し合われました。

具体的な活動は決まりませんでした。今後アイデアを募り、できるだけ早い時期に活動できるようにしていきたいと思ひます。

また、学校からお願いしたことがあります。「学校は学びの場であるから、地域の方々も学びを通じてつながりたいので、常時活動として昼休みに学習支援をお願いしたい。」と言った内容です。委員の皆様から貴重なご意見をいただき、白木会長から「今後できるだけ早い時期に実現できるように」と心強いお言葉をいただきました。早速、八木コーディネーターさんと平井コーディネーターさんがボランティアで学習支援をしてくださる方を探してくれています。この動きの良さが頼もしく、うれしいです。

まずは3年生の九九修行から始めたいと思ひています。2年生の時に習得したはずの九九ですが、十分身につけていないと3年生で習



うわり算で苦戦します。ですからもう一度、九九修行を行って習熟を図り、楽しくわり算ができるようにしていきたいと思ひます。3年生から始めていって、様子によって他の学年に広げていけたらと思ひています。

与える人へ

昼休みに廊下を歩いていると後ろの方から声がありました。「給食おいしかったです！」1年生の子が給食調理員さんに向けた言葉でした。給食調理員さんはうれしそうに「ありがとう」と笑顔で答えていました。

きっと給食調理員さんはうれしかったことでしょう。きっと翌日からの調理にも力が入ります。1年生でも、と言っは1年生に失礼ですが、子どもであっても人に力を、元気を与えることができるということです。見習いたいものです。その1年生の家では、相手を思いやり、感謝する言葉が飛び交っているのかもしれない。言語環境はとても大切です。家族間でも「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えられると、外でも感謝の気持ちを言葉で表せるようになると思ひます。「まずは自分から！」が大切です。



3年生が自分たちで植え付けたレンコンの観察にいきました。